

☆道路行政セミナー09年2月号 NO.005

★☆ポイント☆☆

◆◆◆特集◆◆◆

安心・安全を実現するスマートウェイの取り組み

(国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室)

ITS（高度道路交通システム）とは、最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワークさせることにより、交通事故、渋滞、環境悪化といった道路交通問題の解決を図る新しい道路交通システムであり、これまで官民を挙げて推進されており、多くの技術が生み出され、社会に浸透してその効果を上げている。

本稿では、国土交通省道路局が推進するITSの取り組みについて紹介する。

◆◆◆訴訟事例紹介◆◆◆

歩行者が後ろ向きに歩道を歩行した結果段差から転落、

負傷した事故について、道路管理瑕疵が争われた事例

＜平成20年3月28日 横浜地裁判決＞

(国土交通省 道路局道路交通管理課)

【事案の概要】

歩行者が後方に向けて歩行中、歩道が断絶して生じている段差に気づかないまま進行、転落して負傷した事故について、上記歩道が通常有すべき安全性を欠いているとして、道路管理者に対し逸失利益等の賠償を請求。

【判決要旨（請求棄却）】

本件段差の存在は、歩行者が一般に要求される注意を払っている限りは本件歩道の通行に危険を及ぼすものではないから、本件歩道が通常有すべき安全性を欠いているとは認められない。

◆◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆◆

●「地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする

広告物の道路占用の取扱いについて」を活用した事例紹介

(北海道開発局 建設部 建設行政課)

札幌市の駅前通の一部を構成している一般国道36号線の大通からすすきの間において、「地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用の取扱いについて」（平成20年3月25日国道利第22号）を活用して行った道路占有許可の事例をご紹介します。

●長崎県の地域性に基づいた施策（長崎県土木部 道路維持課）

長崎県は、地形的に海岸線が複雑に入り組んだ離島半島が多いため、海上橋梁等の道路構造物は厳しい自然環境にさらされており、これら施設の維持管理を適切に行い、安全な道路空間を確保することが求められています。一方、その入り組んだ海岸線によって育まれた、豊かな自然環境を活かした官民協働の活動も求められています。ここでは、この地域性に基づいた2つの施策について説明をします。

●長崎市の道路管理 — 道路は安全・快適に利用したい —

（長崎市 道路公園総務課）

長崎市は、平坦地が少なく、山腹を這い上がるように住宅地が密集している斜面市街地が形成され、独特な都市景観を創り出しています。そのため、急勾配な道路や狭隘な道路が多く、管理に苦慮しているところです。

このような状況下において、いかに道路は安全・快適に通ることが出来るよう努めているかいくつかの事例を紹介します。

◆◆◆お知らせ◆◆◆

平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します！

（道路局 道路交通管理課）

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成21年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

◆◆◆編集後記◆◆◆

編集後記のことを考えながら帰途についた年末のこと。駅にあるフリーペーパーを見て昔の記憶が蘇ってきました。その冊子には、「年末はやっぱり第九!!」と書かれており、年末＝第九のイメージがわからないものの、小学生の時に友人に誘われて入団した合唱団において私も歌った経験があり、とても懐かしくなりました。

私が参加したのは、両国国技館で開催される「5,000人の第九」というもので、毎年2月に開催されるため、年末＝第九というイメージがわかかなかったのかもしれませんが。

当時、合唱曲として練習した歌はたくさんありますが、当時のお気に入りの曲は、「気球に乗ってどこまでも」でした。皆さんは知っていますか？

曲名のとおり、“気球に乗ってどこまでも行こう”という、とても前向きな曲ですが、「時にはなぜか～ 大空に～ 旅してみたく～ なるものさ～♪」という歌詞から始まるのですが、今思い返せば、現実逃避的な要素もあるのかなと感じてしまいます。当時は何も考えずテンポのよい曲との印象で大好きだったのですが、現実を知ったのでしょうか…大人の心をもってしまった今の自分が少し悲しい気もします。

それから、一番思い出に残っている歌は「夏の思い出」です。「夏が来れば思い出す～ はるかな尾瀬～ 遠い空♪」。これは、天使の歌声で有名な“ウィーン少年合唱団”と共演した思い出の曲です。初めて見る異国の少年たちの天使の歌声に心を奪われたという、まさに私の夏の思い出でもありました。ステキな思い出だったなと思い返してみるものの、少年の頃しかあの歌声は出ないので、今はもう…と思うと少し悲しかったりもします。

昨今、世知辛いニュースがたくさんありますが、好きな歌を口ずさみ、元気を出して前に進んでいくという毎日も良いのではないのでしょうか。みなさんは、自分の好きな歌はありますか？私は、最近お気に入りの「野に咲く花のように」を口ずさみながら、朝の築地を歩いています。朝、お気に入りの歌を歌ってみると、予想外に元気がでるものです。暗いニュースの多い中、少しでも明るく毎日を過ごすためにも是非お試しください。思います。(U)